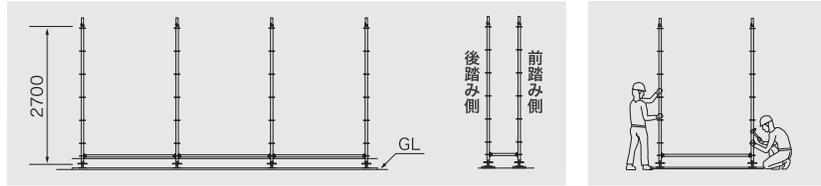


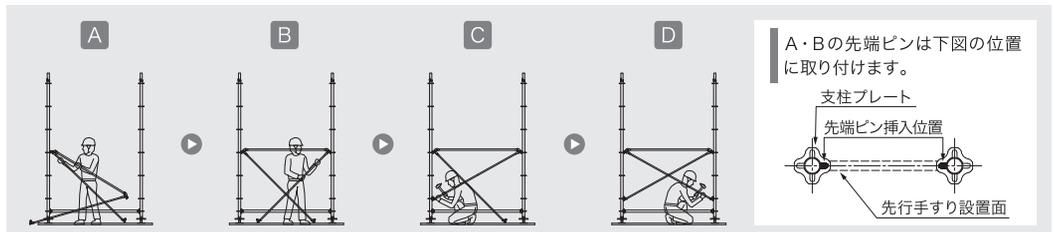
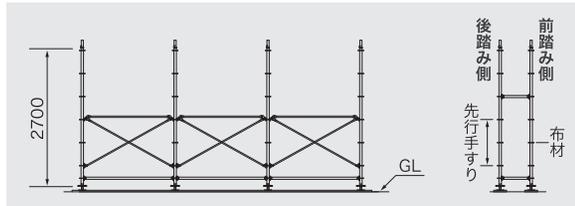
足場の組立

足場基底部・1層目

- 1 ① 敷板の設置
基礎の支持力が十分であることを確認します。
- 2 ② ジャッキベースの配置
敷板に釘等で固定します。
- 3 ③ 支柱の設置
最下層の支柱は根がらみプレートのある2700、1350、900を使用します。
- 4 ④ 根がらみ(布材)の設置
布材を軽く打ち込み水平器でレベルを調節します。
緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。



2 ⑤ 足場の後踏み側の桁面に先行手すりを設置



先行手すり取付方法

※先行手すりは作業者から見て左側が手前、右側が奥になるよう取り付けます。

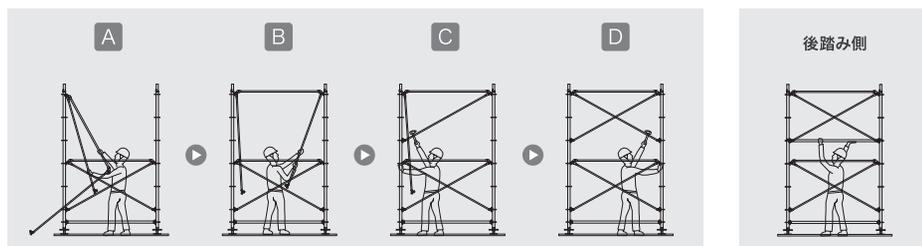
- ① 先行手すりの斜材先端ピンを支柱フランジ穴に入れます。
- ② 手順①と反対側の斜材を持ち上げ、先端ピンを支柱フランジ穴に入れます。
- ③ 筋かい部分の一方を支柱プレート部に取り付け、くさびをハンマーでたたいて緊結します。
- ④ 手順③と反対側の斜材を支柱プレート部に取り付け、くさびをハンマーでたたいて緊結します。
- ⑤ 緊結部くさびが正しく打ち込まれていることを確認します。



3 ⑥ 足場の後踏み側の桁面に2層目の先行手すりを設置

緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。

4 ⑦ 床付き布枠の設置



安衛則改正により31メートル以上の足場も2本組み不要に

平成27年7月1日に新しい労働安全衛生規則が施行されました。この改正により従来の制約条件であった「強度の有無に関わらず、高さ31mを超える単管(類の)足場は最高部から31mを超える部分を必ず2本組みにしなければならない」基準が緩和され、それぞれの足場の実験データに基づく支柱許容荷重に応じて、可能な高さまで組めることになりました。

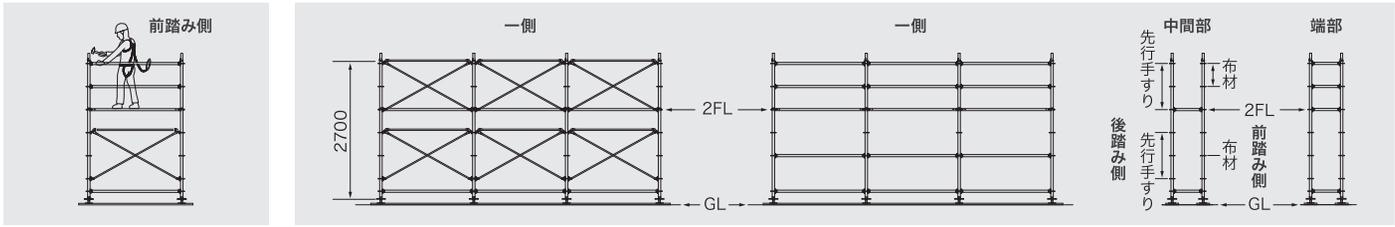
足場条件により差異はありますが、アルマトロスは支柱の補強なしで45m以上の足場の設置が可能です。また、自重の大きくなる梁枠開口部や荷受けステージ等の部分は簡単に後付けできる強化方づえで必要な部分、必要な期間のみ強化することが可能です。

2層目

5 8 2層目足場の前踏み側の桁面の布材設置

緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。

2層目の組立てが終了した時点で最初の壁つなぎを取付けてください。 ※壁つなぎについては風荷重の算定に従い適正に設置してください。



6 9 3層目分の支柱設置

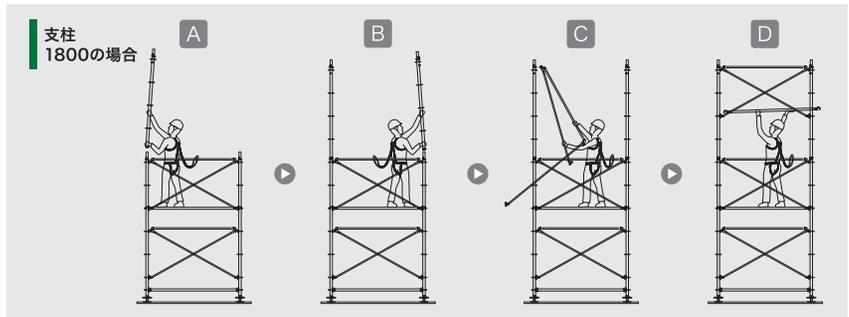
支柱は1800または3600を使用します。

抜け止めを正しくロックします。

10 足場の外側に3層目の先行手すりを設置

11 3層目の床付き布枠の設置

緊結部くさびが正しく打ち込まれている(緩みがない)ことを確認します。

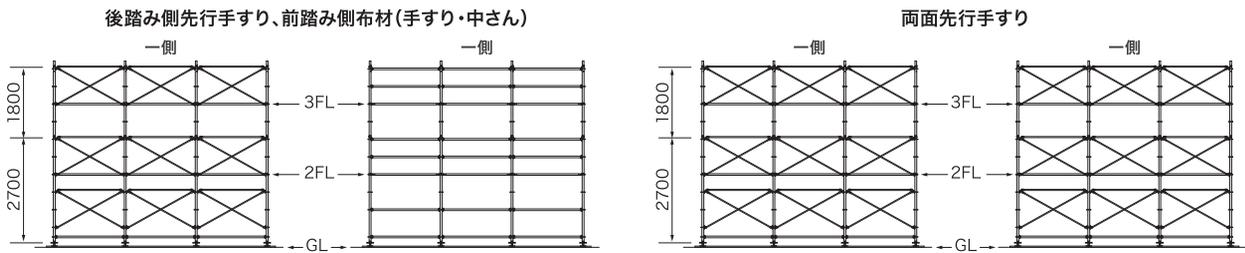


アルバトロス

3層目以上

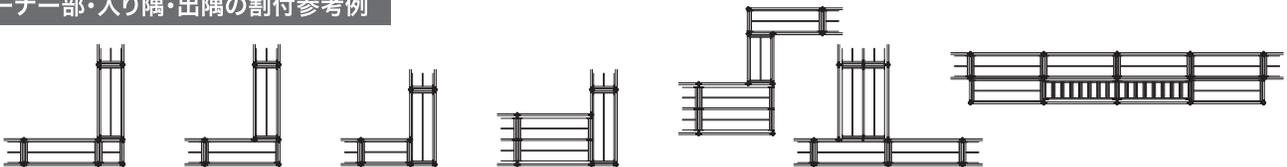
12 3層目以上の足場の組立は、作業手順 5・6 の繰り返しとなります。 ●解体は作業手順を逆に行います。

外部足場の標準的な設置方法



※後踏み側、または後踏み側・前踏み側の全層・全スパンに先行手すりを設置してください。

コーナー部・入り隅・出隅の割付参考例



- 各システムの設置・使用方法に関しては各組立基準、使用基準を参照してください。
- 一般事項については仮設工業会「くさび緊結式足場の組み立て及び使用に関する技術基準」に従ってください。
- 足場板は支柱との距離が12cm未満になるように配置して固定してください。
- 風荷重については通常の足場と同様にご計算ください。
- 法規上は本製品はその他鋼管足場(単管足場)に分類されます。
- 計画・設計、強度計算、その他の技術的なお問い合わせは弊社各支店までお問い合わせください。

製品の仕様・外観については予告なく変更する場合があります。

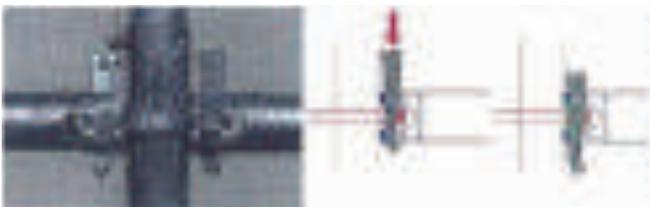
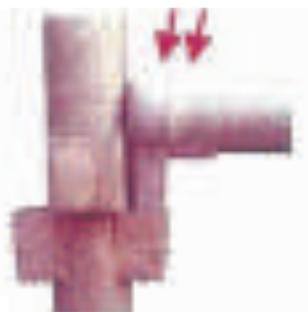
○労働安全衛生規則 第五百七十一条

三 建地の最高部から測って三十一メートルを超える部分の建地は、鋼管を二本組とすること。ただし、建地の下端に作用する設計荷重(足場の重量に相当する荷重に、作業床の最大積載荷重を加えた荷重をいう。)が当該建地の最大使用荷重(当該建地の破壊に至る荷重の二分の一以下の荷重をいう。)を超えないときは、この限りでない。

○厚生労働省 労働基準局長 基発0331第9号7 第571条関係について (3) 抜粋

また、鋼管にフランジ、フック等の緊結部を溶接することにより、緊結金具を使用せずに組み立てることができる単管足場では、当該足場を組み立てた状態での支持力試験を実施した結果から、建地に破壊に至る荷重の2分の1以下の荷重を許容支持力として示されており、これを最大使用荷重として用いて差し支えないこと。この場合、布材、補剛材等の使用条件に応じて支持力結果が異なることから、当該布材、補剛材等の使用条件に応じた最大許容荷重を用いること。

従来のくさび緊結式足場と違いアルバトロスは他の類似品より進化した足場です

	アルバトロス	従来のくさび緊結式足場
緊結力	 <p>○ 支柱と布材は鉛直方向 上下ともに緊結力が保持される。</p>	 <p>△ 支柱と布材は鉛直方向 1 方向しか緊結力が保持されない。</p>
大組・大払し	 <p>○ くさびが抜ける可能性がなく、2層6スパンまで可能。</p>	 <p>✕ ポケット式くさびのため抜ける可能性があり、適していない。</p>
打撃音	 <p>○ 布材本体とは独立した板状のくさびへの打撃になるので共鳴が小さい。</p>	 <p>△ 布材下部にくさびがあり、布材のパイプを直接打撃するため共鳴し大きい。</p>
コーナー部段差	 <p>○ X・Y方向が平行で段差なし。</p>	 <p>✕ X・Y方向に段差が出来てしまう。</p>

アルバトロス

従来のくさび緊結式足場

大
ブ
レ
ス



○ 先行手摺ブレスは斜材の機能を有しているため、大ブレスは必要ない。

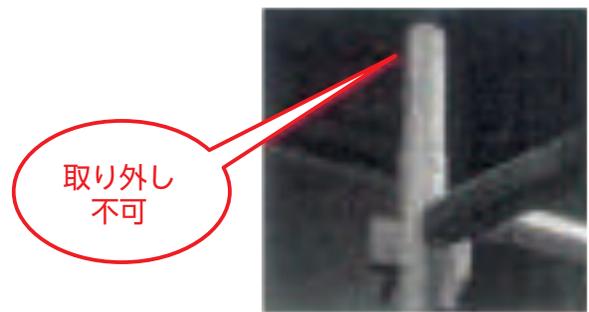


✕ 大ブレスか単管パイプか専用斜材が必要になる。

支
柱
の
出
っ
張
り



○ ステージの際に床がフラットになる。



✕ 連結ピンが出っ張ってしまう。

床
材



○ 枠組足場と同じ床付き布枠が使用可能。高所での作業も下が見えないので安心。床材の許容荷重250kgfで安心。



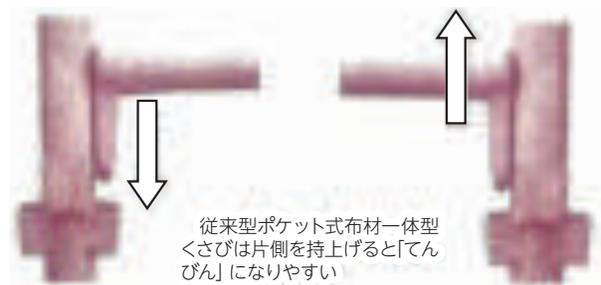
△ エキスパンドのため、高所で下が丸見えの恐怖感。歩く時のメッシュの弾力がある恐怖感。作業員が上を通ると埃やゴミが落ちてくる。

△ 床材の許容荷重200kgfで不安。

布
材
撤
去
作
業



○ 布材撤去時に片側づつくさびを保持する事ができ、作業しやすい。



従来型ポケット式布材一体型くさびは片側を持ち上げると「てんびん」になりやすい

△ 取付時は良いが、撤去時に左右のくさびを解除しながら水平に抜き取らないと、片側持ち上げると反対側が再度ポケットに入ってしまう作業しづらい。